

令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 名称「東京都立西高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）」

(2) 事務局の構成 総務部主任＝事務局長、総務部員1名 計2名

(3) 内部委員の構成

副校長、経営企画室長、教務部主任、生徒部主任、進路部主任、総務部主任、厚生部主任、
1学年主任、2学年主任 計9名

(4) 協議委員の構成

P T A会長、P T A旧役員、学校医、近隣中学校長、町会防災関係者、地域関係機関代表
者、地域防災担当、消防署担当、警察署担当、同窓会長 計10名

2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和3年6月10日（木）内部委員9名、協議委員7名

協議委員委嘱、評価委員委嘱、協議会の趣旨、学校経営計画、学習指導・生活指導・
進路指導・学年における指導の方針、重点項目などの確認。

第2回 令和3年10月20日（水）内部委員9名、協議委員4名

本校の現状と課題、協議委員から教育活動に対する設問・意見、学校評価アンケート
項目の検討

第3回 令和4年2月3日（木）

*新型コロナウイルス感染症拡大予防のため書面開催。

今年度の教育活動のまとめ、学校評価アンケート結果の報告、学校運営に関する提言、
本年度の協議会の反省と次年度へ向けた課題

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和3年10月20日（水）内部委員3名、協議委員1名

学校評価の基本方針の確認、学校評価アンケート項目の検討

第2回 令和4年2月3日（木）内部委員3名、協議委員1名

学校評価アンケート集計結果の分析・考察

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校の教育活動への理解」、「学校の実践・対応」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・ 12月 全校生徒 967人
- ・ 12月 保護者全員 967人
- ・ 12月 教職員 66人

(3) 主な評価項目

入学満足度、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、環境美化、家庭との連絡・相談、キャリア教育、防災教育、体罰・暴言、教員のライフ・ワーク・バランス（働き方改革）など。

(4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

① 全体的傾向

令和2年度から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、教育活動に様々な制限がかかったが、「入学満足度」は昨年同様96%を超え、学習指導を含めて、全般的に肯定的な回答の割合が高い。特に、3年生の「学習への取り組み」については、90%となり、コロナ禍においても学習に集中して取り組めたと判断できる。例年低い「施設設備の満足」や「環境美化への取組」についても、肯定的な回答が増加し、美化への意識が向上している。

② 生徒

コロナ禍2年目となったが、学校行事や部活動への制限も継続している中、工夫を凝らして実施してきたこともあり、「学校行事への取り組み」86%「部活動への取り組み」83%と肯定的回答の割合が高い。学習指導に関する「教材や教え方の工夫」93%「満足できる授業」91%「質問に適切に回答」96%、進路指導に関する「進路情報の提供」93%「在り方生き方の指導」94%「視野を広げる機会」90%など、学校の取組を高く評価している。

③ 保護者

学習指導・進路指導・生活指導・特別活動を含めて、全体的に肯定的回答の割合が高い。「学校行事への取り組み」90%「在り方生き方の指導」92%「規範意識」93%「生徒・保護者への連絡」94%「入学満足度」95%と高く評価している。学校の「働き方改革」については、よくわからないが51%で、学校の取り組みをさらに周知していく必要がある。

④ 教職員

コロナ禍2年目となり、教員は、オンラインの良さと対面授業の良さを活かしたICT活用方法を研究してきた。そのため、「教材や教え方の工夫」が98%となった。学校行事等への制限が継続している中、「学校行事への取り組み」98%「学習への取組」94%「進路情報の提供」94%「適切な生活指導」94%となり、学校の取り組みへの工夫の結果と考えられる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

全体的な傾向としては、例年と同様、大部分の設問で肯定的な回答の割合が高いものが多い。「学校行事への取り組み」については、生徒・保護者・教職員の三者ともに90%前後であり、さまざまな制限がある中、工夫して実施できた事への評価と考えられる。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

① 学習指導について

学習指導に対しては、生徒・保護者・教職員とも肯定的な評価が高い。今後もICTの活用、オンラインと対面のそれぞれの良さを活かした授業研究を一層進め、さらなる学力向上を目指して、学習指導力の改善に努める必要がある。

② 校内美化について

生徒の美化意識も徐々に向上している。「環境美化への取組」の必要性は、生徒・保護者・教職員とも共通認識されており、今後も厚生部の「校内美化プロジェクト」などを継続実施する必要がある。

③ 広報活動について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったが、令和3年度は感染症対策を徹底し、学校見学会などを実施することができた。今後も感染症対策を徹底し学校見学会や学校説明会などを実施していくとともに、学校ホームページや校外での学校説明会等の広報活動をより充実させる必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

生徒や教職員の安全を確保するため、今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して学校運営を行う。また、激動するグローバル社会で活躍できる「大きな器」の育成を目指して、今後も保護者・地域と連携し、学校教育の全般で組織的・計画的に教育活動を推進し、進学指導重点校として期待される成果を継続的に挙げる。

(2) 学習指導

生徒の学習意欲と基礎学力を向上させ、「思考力、判断力、表現力」の充実を目指して、ICTを活用した教材や教授法などを一層工夫し、指導力向上に努める。

(3) 特別活動

本校の校是である「文武二道」の実現を図るとともに、部活動ガイドラインに準拠し、働き方改革の推進の観点から、部活動の在り方について検討を重ね、実践する。

(4) 生活指導

遅刻や自転車による交通事故防止などの基本的な生活習慣の確立、及び校内環境美化を学校全体で推進する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 10人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数 8

そう思う	多少 そう思う	どちらと も言えな い	あまりそ う思わな い	そう 思わない	分からな い	無回答
3	5	1			1	

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

職員会議 0回(0人) 企画調整会議 0回(0人)

8 その他

学校評価アンケートは、生徒にはTeamsを利用して行った結果、集計作業効率が著しく向上した。保護者には従来の質問紙からClassiを利用した回答に変更したが、回収率が課題となった。

	対象者数(人)			回答者数(人)			回答率(%)		
	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員
今年度 全体数	967	967	66	902	628	49	93.2	65.0	74.2
1年生	326	326		318	252		97.5	77.3	
2年生	326	326		298	196		91.4	60.1	
3年生	315	315		286	180		90.8	57.1	
昨年度 全体数	971	971	78	932	827	76	95.9	85.2	97.4
1年生	328	328		318	266		96.9	81.1	
2年生	325	325		315	295		96.9	90.7	
3年生	315	315		299	266		94.0	83.6	